

須坂市教育委員会 9月定例会 会議録

1 日 時 令和2年9月29日（火）午後2時～4時26分

2 場 所 市役所東庁舎3階 理事者控室

3 出席した委員

教育長	小林 雅彦
教育長職務代理者	神戸 要子
教育委員	土屋 保男
教育委員	二ノ宮邦彦
教育委員	水上 智恵

4 説明のため出席した職員

教育次長	関 政雄
学校教育課長	清水 秀一
子ども課長	新井 修一
人権同和教育課長	牧 俊彦
学校給食センター所長	北堀 智
文化スポーツ課長	田中 賢一
生涯学習推進課長	山岸 一延
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	竹前 金三
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅

5 事務局出席職員

庶務係長	中村 健司
庶務係主査	森井 徳一

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議 題

なし

(3) 協 議

なし

(4) 一般行政報告

- ①教育長出席行事の報告について
- ②行事共催等承認の報告について
- ③9月定例会市議会一般質問報告について

(5) その他

- ①教育委員会行事予定について
- ②須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- ③須坂市人権のまちづくり推進会議事業及び須坂市企業人権教育推進会議事業について
- ④2021年成人式について
- ⑤その他

小林教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事から説明あり。

土屋委員：事故報告 20 の虐待については先月に報告があったが、その後はどうか？

→夫婦で学校に謝罪に来ている。子どもは普段通り登校している。

神戸代理：事故報告の 21 と 22 の暴力は学校が違うのか？

→違う。

神戸代理：生徒の特性については分かっていたのか。

→わかっていた。わかっていたが学校全体の対応が間に合わなかった。

教育長：2人の先生がまた元気に勤めていただければと思っている。

二ノ宮委員：事故報告の 26 は社会体育活動中だと思うが、責任の所在は？

→学校の活動ではないので、社体で保険に入っている。

土屋委員：いじめ調査で、「やめさせようと思ったけれどできなかった」とはどういう状況か？

→思っただけで、行動しなかったということ

土屋委員：いじめについて家庭から学校に連絡が来ることはあるか？

→ある。保護者から相談が来る。

神戸代理：学校が楽しくないと答えている子は、どんな所が楽しくないのかわかるか？

→そこまではわからない。

神戸代理：いじめの態様にある「軽い暴力」とは？

→本人の判断。主観で答えている。

教育長：暴力については本人に確認しているか？

→全部聞いている。

教育長：楽しくないと答えた子には何かアプローチしているか？

→学校ではやっているが、こちらに報告は求めている。

神戸代理：7月に調査して、その後の変化については？

→学校では把握している。QU調査と連携してその子の状況を追っている。

教育長：6月の調査で「楽しくない」と答えた子に、キチンとアプローチできて

いれば11月の調査では改善するのではないか

二ノ宮委員：前年との比較は同じ母集団で行ったらどうか。

→検討したい。

二ノ宮委員：いじめの相談者として養護教諭の率が低い、何か理由があるか。

傍観者への指導は？

→傍観者への指導として、チクることが大事、通報・連絡することが近道という話があった。養護教諭への相談が少ないのは、まずは信頼している担任でいいのではないか。保健室は子どもが大勢いくので相談しにくいかもしれない。

教育長：こういう意見が出たことを学校に伝えた方がいい。問題意識を持ってもらいたい。

水上委員：保健の先生が忙しくて時間が取れないことと、保健の先生と2人きりで話すと、何かあったのではないかと気を使う子もいる。誰にも話さないというのも良くない。1人1人にカウンセリングの時間を取ってもらった方がいいと思う。

教育長：一人ひとりと向き合う具体的な形が学校にあるのか、考えてみてもらう必要があると思った。

神戸代理：自分の子の時に、クラスの保護者が全然知らなかったケースもあった。その子は親に話せたというだけでも良かった。子どもは、自分に降りかかることを心配して話せないときもある。

(運動会・文化祭の様子について)

土屋委員：豊丘小学校の運動会は児童たちが立派に行っていた。プログラムの一番最後に豊丘音頭という踊りがあって、地域に伝わる文化をつなげてくれていていいなと感じた。

二ノ宮委員：須坂小の運動会では保護者も三密を避けて見ていた。5・6年生が
中信になって年制の面倒を見ている様子が見て取れた。墨坂中学校の文
化祭は、生徒達がしっかりしていた。

神戸代理：相森中学校は雨の中土曜日に運動会をやった。全部生徒自身が進行し
ていて生徒中心のいい運動会だった。仁礼小では、来られる保護者は皆
来ていた。各学年2種目で、スムーズにできた。

水上委員：井上小は、保護者も学年ごとに来ていた。常盤中はすごく楽しそうに
やっていた。

2 議 題 無し

3 協 議 無し

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

- ・9月6日、SDGsの講習会に参加した。30人近くの小学生から高校生が参加した。世界の目で見たら私たちはどこに立っているのかを知る非常にいい講習会だった。子ども達に向けた発信が大事。
- ・9月11日、家庭学習の手引きの改訂委員会に出席した。手引きをここで改定する理由は、臨時休業が続いた中で、家庭学習の位置づけがとても大事になってくること、そしてこれまでの復習中心の家庭学習から、予習プラス授業という形にしていくと、効果が出るという、学力のエビデンスがたくさん報告されていることが出発点。ただ、現場の先生にしてみるとそんなに簡単にできることではないという意見もある。

北村指導主事：予習することで授業の仕方が大きく変わる。一人一台のタブレットを活用しながら取り組む

宮崎指導主事：英語学習の状況については、コロナの影響は最小で済んだと思っている。ただ担任の先生が一人で授業ができるようになるにはもう少しかかると思う。

(2) 行事共催等の報告について

小林教育長が説明を求め、清水学校教育課長が説明した。

- ・共催事業が1件、後援事業が4件。

(3) 9月定例市議会報告について

小林教育長が説明を求め、関教育次長が説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

土屋委員：災害時の避難場所の開設は教育委員会が中心となるが、ペットが入れる場所を用意しておいてほしい。

→ペットについては部屋ではなく、屋根のある場所で考えている。

(2) 主催共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、清水学校教育課長が説明した。

(3) 須坂市人権のまちづくり推進会議事業及び須坂市企業人権教育推進会議事業について

小林教育長が説明を求め、牧人権同和教育課長が説明した。

(4) 2021年成人式について

小林教育長が説明を求め、牧人権同和教育課長が説明した。

・次回10月の定例教育委員会で最終的な案を出す。

土屋委員：18歳成人との関係は？

→市の方針として、今までと同様に20歳で行う。名称は「二十歳の集い」のようなものを考えている。

(5) その他

①竹前指導主事より、多層指導モデルの説明

②神戸職務代理者の離任について

(教育長)

平成25年から8年間、2期にわたって教育委員を務めていただいた。

どんな場面にあっても落ち着いて、言葉を選んで適切に話をできるところが素晴らしい。

学校の空気を感じて、我々とは違う視点で話をいただいたことは貴重。

市民の声を本当によく聞いていただいて教育委員会で意見を出していただいたことがとても参考になった。

8年間、本当にありがとうございました。

(神戸職務代理者)

8年間お世話になり、ありがとうございました。

一言で言うには8年間は長いと思う。

最初に教育委員の話があったときには、何故？どこから？どういう話で私のところへ？と思った。

主人に相談したところ、なりたくてもなれるものではないのだから、受けてみたらどうか、との後押しがあって受けさせてもらった。

教育委員をやっているということはどなたにも話はしなかったが、場面々々で地域の人と関わることがあるので、何故教育委員やっているの、と聞かれると返事に困った。

なんとか8年間やらせてもらって、委員長、職務代理者とか、本当に重圧のある中でやってこられて、本当に教育長には助けられた。県市町村教委連絡協議会にも副会長という立場で行ったが、それも、「次は須坂市だぞ」と教育長が言われて、私は代議員会に行く車の中で、断らないでくれと言われて、どういうことをするのだろうと思っていたら、代議員会で前に並ぶ席に座るという事が行ってから分かって、担当副理事長の教育長の先生方に、今度の副会長は神戸さんだぞって言われて、「順番だから」という感じで受けさせてもらった。

私とすれば、そういう皆さんと知り合えたことが、一つの財産になっていると思う。これからもご縁があるかと思うが、この教育委員会で皆さんと知り合えたこととか得たことを、これからの人生の糧にしたい。

どうもありがとうございました。

小林教育長が閉会を宣した。